

令和元年度 市民意見交換会（総務生活常任委員会）

《令和2年1月22日》

意見交換の相手団体：たつのEM 利用研究会

意見交換会のテーマ：たつの市の環境改善及び浄化の取組について

主な意見（一部抜粋）

- 小学校のプールに、児童と一緒に“EM活性液”を投入し清掃している。アオコの発生を抑え掃除がしやすくなる。また、別の小学校では、活性液と土を混ぜた“EMだんご”を作り、川に投入することで、ヘドロが改善され、川底が見えるくらいに浄化されてきている。卒業生が将来社会人になったとき、こういう取組でふるさとの水がきれいになっているという話をされることを期待している。
- 私たちのグループは生ごみの減量化を目指している。生ごみ全部をコンポストに入れてフル回転させ、完全に発酵させてから畑の肥料としている。生ごみは市が回収・焼却してくれるが、すごい燃料費がかかることから、この取組は元気がある限り続けていきたい。私たちは広め方が上手くないけれど、皆が生ごみを処理することをもっと心がけていただけたらと考える。
- 行政が生ごみを集めて肥料化し、それをチップにして市民に配布しているところもある。費用対効果の問題があるが、それだけ生ごみが減れば、ごみ処理に費やす燃料費や作業費は減ると考える。
- 神部小学校で活動している「ゆめクラブ」では、EMを使って土づくりをしたり、化成肥料を一切使わないでさつまいもを作ったり、廃油からせっけん作りをしたりしている。お金を出せば買えるけれども、こういった環境浄化を勉強してもらう取組が全国的に広まっていけばと考えている。

